

Plan Do Check Action

「生涯学習」

朝日町教育委員会

教育長職務代理者 澤木 昇

退職後に生涯学習と出会う機会があり、教育一筋の人生観が大きく変わった。多様な特技と趣味を持つ人との出会いで実りある時間を過ごせたことであった。

きっかけは、県の嘱託職員となり新川地区生涯学習の担当から始まった。新川地区生涯学習団体協議会は、県民カレッジ委託講座として新川地区教養講座を実施している。教養講座は、「ふるさとに学ぶ」―新たな出会い―をテーマに年8回の講座を開いている。講師はできるだけ身近で、県東部在住の方を中心に、文化・歴史・医療・音楽などの諸分野から探している。また、富山・高岡・砺波地区で開催され人気が高かった講座なども参考にしている。新川地区生涯学習団体協議会には、朝日、入善、黒部、魚津の地区から参加する35団体の生涯学習グループがある。グループには、読書会・ボランティア・英会話・古文書の解説学習・紙芝居・絵手紙・社交ダンス・郷土学習・油彩画など様々な会が所属している。年齢構成は50代から90代までと幅広い。70代から80代が7割を占め、男性より女性が多く活発である。地区協議会の役員会を開くと女性役員から様々な要望が出され、次年度の講座をより充実したものにすべく検討が重ねられてきている。

この生涯学習では、様々な特技を持った方々と出会い、いろんな価値観にふれられ視野が広まった。更に新しい仲間と一緒に活動することで充実感を高めることができ、より大きな喜びや楽しさを感じることができた。豊かな老後につながる貴重な出会いがたくさんあったと感謝している。また、自分の意志に則した学習をすることで日々の生活に生きがいを見いだせた。

私は今、朝日町の歴史を学ぶ会に加入している。この会は、平成25年に始まった「木曾義仲・巴と宮崎太郎あさひ塾」が10年の節目で解散した塾のメンバーで結成した。これまで、馬場はるや細川嘉六の伝記を読んだり、宮崎太郎の紙芝居を町内の小学6年生に読み聞かせたりしてきた。月に1回と回数は少ないが気心の知れた仲間と学んだり、話し合っ



今年度の研修会から

現地学習会 8月6日(水)

昨年度に引き続き、地域学校協働活動推進員の水野瑠美子さん、まいぶんKAN学芸員の川端典子さんを講師にお迎えし、現地学習会を行いました。「ふるさと科」の授業でどのように教材として取り上げることができるかを考えながら、町内を巡りました。



舟川地区の散策では、耕地整理についての話を聞き、新たな知見を得ることができました。バタバタ茶伝承館では、バタバタ茶の歴史に触れ、実際にお茶を点でてゆったりとした時間を過ごしました。

まいぶんKANでは、朝日町の歴史について詳しく解説していただきました。全国的にも有名な遺跡がたくさん見られる朝日町の魅力やよさを十分に感じることができました。

小中学校教育講演会 8月18日(月)

講師：東京学芸大学 教授 高橋 純 先生

演題：デジタル学習基盤を活用した「子供一人一人が主語」の授業づくり

DX時代における学校教育での教師の役割を、授業づくりの視点から具体的に分かりやすくお話していただきました。ユーモア溢れる語り口と説得力のあるお話は受講者を惹き付け、あっという間の2時間でした。



【アンケートより】

- ・授業を進めていく上で知識をつなげていくことができるよう問いかけていきたいと思った。また、他者と比較するのではなく自己更新をできるような学習の仕方を取り入れていきたい。
- ・課題設定より情報収集が大切であること、情報収集する中で疑問が生まれ、課題が見えてくることを学ぶことができた。
- ・知識のネットワーク化（孤立した知識にリンクを作る）ということが印象に残った。自身が現在取り組んでいる授業改善の軸となる部分でもあったので、今後も心掛けていきたいと思った。また、教師による把握・分析・指導についても大切にしていきたいと思う。

子供一人一人が主語となる授業づくり研修会 9月11日(木)

講師：富山大学 名誉教授 山西 潤一 先生
東京学芸大学 教授 堀田 龍也 先生

あさひ野小学校の6年生の算数授業を参観していただいた後、講話をいただきました。朝日町が本年度取り組んでいる授業づくりについて、さらにこれから求められる教育の在り方について詳しく教えていただきました。



子供たち自身が学習活動にモチベーションをもち、身に付いた力が何であるかを理解することができるような支援が必要であること、子供に的確な支援ができるよう、学習状況や思いを正確に把握する力を身に付ける必要があることなどについて実感するとともに、今後の授業づくりの在り方について深く考えることができました。



保小中一貫教育行事から

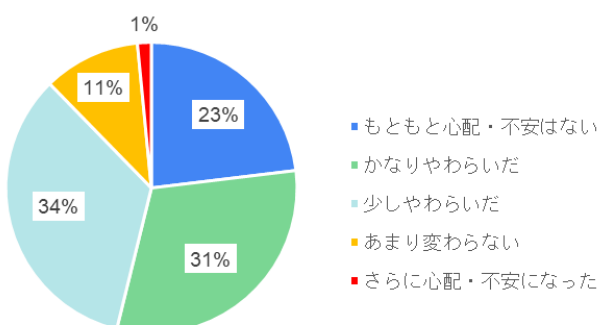
中学校体験入学 10月2日(木)

あさひ野小学校とさみさと小学校の6年生 65 名が朝日中学校へ半日体験入学をしました。理科・英語科の体験授業や先輩たちの授業見学をとおして、中学校生活を体感する機会となりました。



【6年生へのアンケート結果から】

進学に向けての心配や不安な気持ちは？



【6年生への感想から】

- ・中学校は小学校といろいろなことが違って少し不安だったけれど、授業をしたり見学をしたりして、中学校に行くのが楽しみになりました。
- ・他校の人と協力して仲を深めることができよかったです。
- ・授業が進んでいくスピードが速く感じたので、今のうちにたくさん勉強をして、授業のスピードについていけるように備えたいです。

保小中合同音楽会

10月28日(火)

今年度は、重厚なサウンドで幅広いジャンルのレパートリーをもつ「カズトレイン・サクスカルテット」を招いての公演会でした。保育園年長児、さみさと小学校6年生、朝日中学校3年生、あさひ野小学校全児童の約210名が参加しました。見た目も音の高さも違う4種類のサクスが一つになった「夢をかなえてドラえもん」



「情熱大陸」等々の演奏を聴き、子供たちだけでなく大人もステージを満喫し、楽しいひと時を過ごすことができました。アンコールでは一緒に歌ったり踊ったりし、とても盛り上がりました。

朝日町教育支援センター あすなろ の紹介

あすなろは、9月より、役場附属棟2階に移転しています。リニューアルした部屋の様子を紹介します。



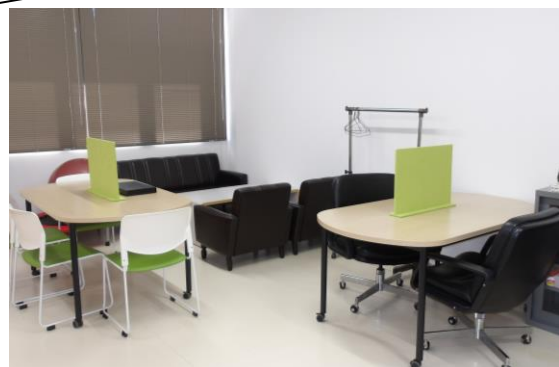
入り口で靴を脱ぎ、室内では、スリッパや内履きで過ごします。電子ピアノがあり、好きな曲を弾いたり聴いたりすることができます。

必要に応じて衝立を活用し、一人一人に応じた学習を行うことができます。また、マットを敷いたスペースがあり、ゆったりと過ごすこともできます。



先生方には、夏季休業中に引っ越し作業にご協力いただき、ありがとうございました。

今年度も研修会や講演会でお世話になった先生方の著書を購入しています。ぜひ、教育センターにお立ち寄りください。



発行：朝日町教育センター

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133

TEL/FAX (0765) 83-0279

E-mail asahi-ec@asahischool.jp

<https://center.asahischool.jp/>